

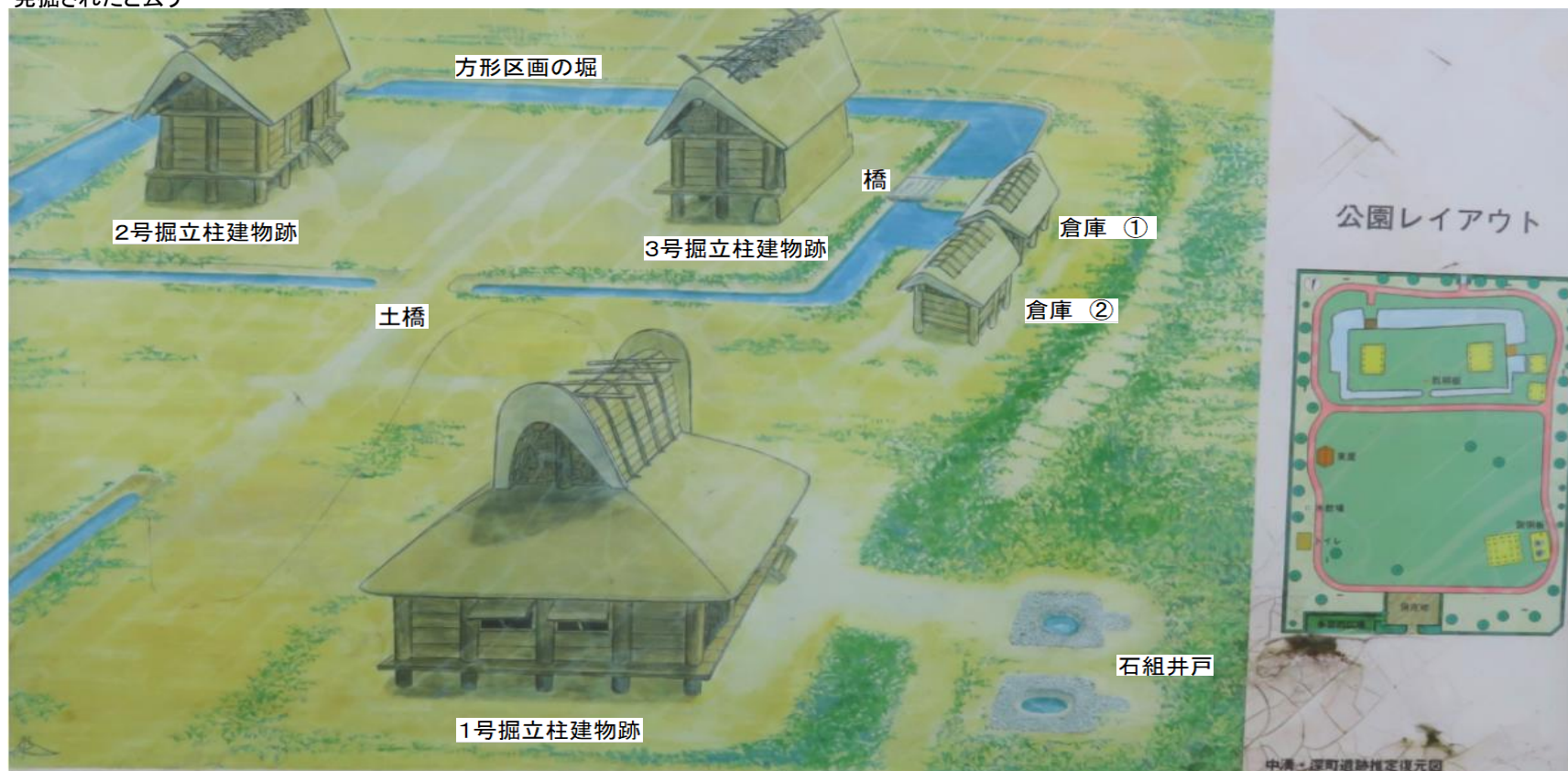
中溝・深町遺跡(太田市)

ここは小金井史跡公園/説明板(正面)や標柱(右手)が見える

 [video](#)



ここに中溝・深町遺跡が保存・整備されている/遺跡からは、このような古墳時代前期(4世紀末~5世紀初頭、およそ1600年前)の建物跡や堀跡、井戸跡が発掘されたと云う

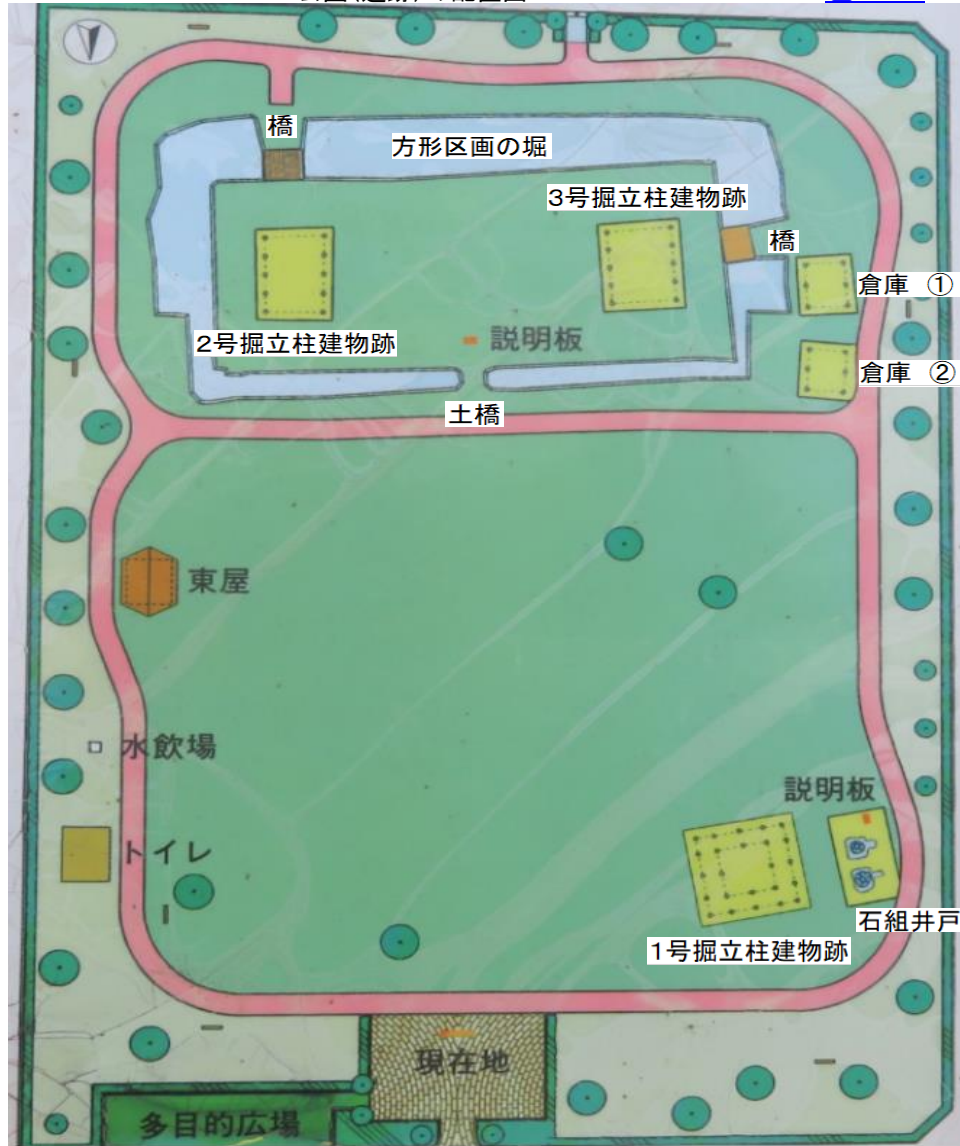


この公園は、新田東部工業団地の造成に伴う発掘調査で見えられた「なかもみ ふかまち中溝・深町遺跡」を保存する目的で作られました。遺跡には、上の絵のような古墳時代前期(今からおよそ1600年前)頃の建物跡や堀跡・井戸跡がありました。手前に見えるのは、ほつたてはしらたてもの石組みの井戸とまつりを行なう特殊な掘立柱建物です。奥に見えるのは、堀で方形区画し、その内側に建てられた大型掘立柱建物です。堀の外側には倉庫があり、一般の村とは明らかに異なっていました。これらの特殊な遺構に加え、しょう小銅鐸や銅鏡などが出土しました。このようなことから、「中溝・深町遺跡」は、この地域を治めていた豪族に関わる貴重な遺跡として県の史跡に指定(平成10年3月24日)され、「小金井史跡公園」として保存されることになりました。

群馬県教育委員会・新田町教育委員会

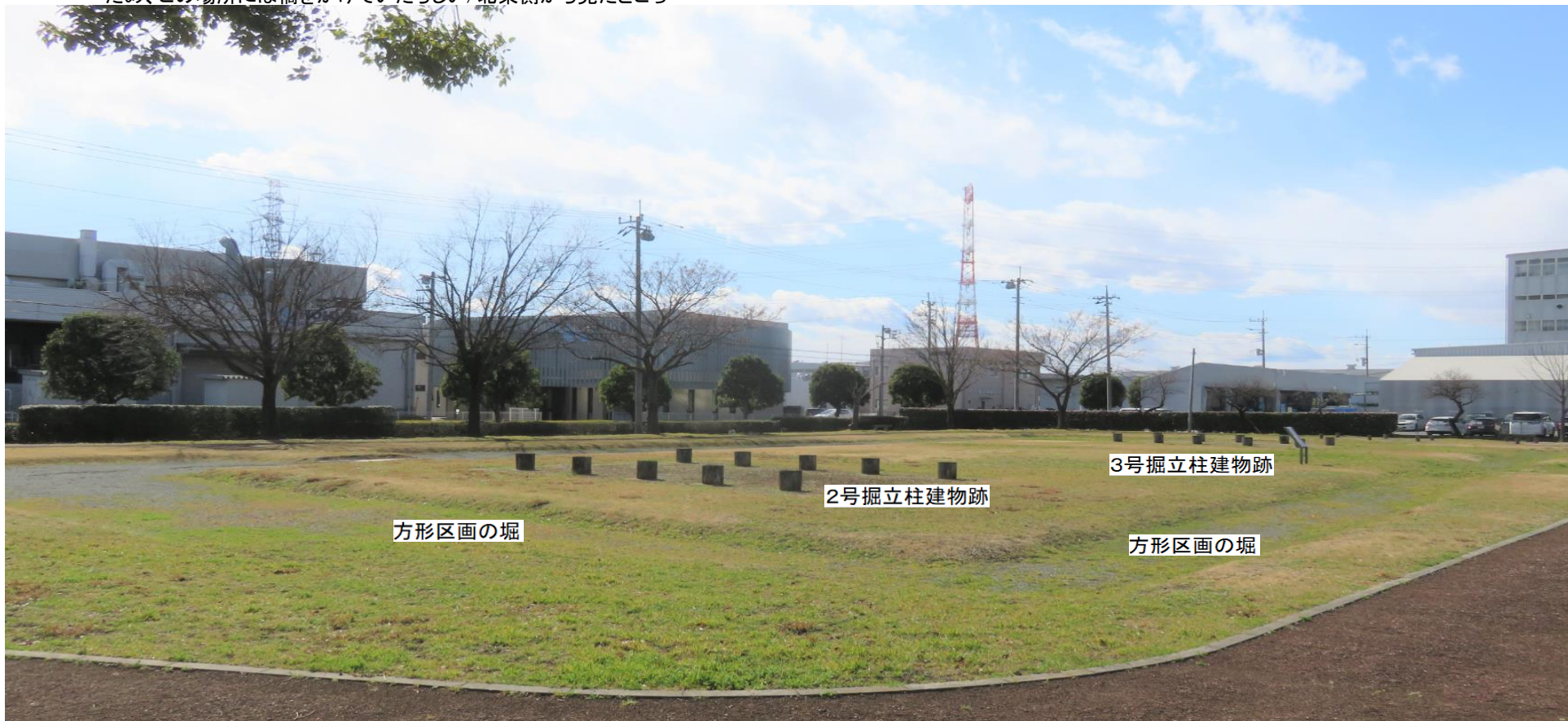
公園(遺跡)の配置図

[video](#)





これは方形の区画と大型掘立柱建物跡/方形の区画の周囲には堀が巡っていて、北側中央部には土橋があり、西側と南側の2か所は四角く張り出しているため、この場所には橋をかけていたらしい/北東側から見たところ



説明板が立っている/北側中央部の土橋を渡ったところ

 [video](#)



「方形の区画と大型掘立柱建物跡」の説明板

方形の区画と大型掘立柱建物跡



古墳時代前期（今からおよそ1600年前）の遺構

方形の区画は東西約47m、南北約20mの大きさで、周囲の堀はほぼ東西対称に掘られていました。この堀の北側中央部には土橋があり、西側と南側の2か所は四角く張り出しているため、この場所には橋をかけていたと思われます。区画内には太い柱を使った2棟の大型掘立柱建物跡が東西対称に配置されていました。さらに、堀の外側には倉庫とされる建物跡がありました。このようなことから、これらの遺構は当時この地を治めていた豪族の居館跡か、祭殿跡であろうと考えられています。



大型掘立柱建物の柱材

中央に上から下に延びている白い帯は、公園として整備する以前に造ってしまった道路で、遺跡保存のために左手に切り回されたようだ



柱が載っていた木製の礎板/柱の沈みこみを防ぐための板



大型掘立柱建物の柱材

東側から見たところ



方形区画の堀

3号掘立柱建物跡

2号掘立柱建物跡

方形区画の堀

その右手で、堀と土橋を見たところ



土橋

方形区画の堀

同じく左手で、堀と南側の橋が架かっていた場所を見たところ



橋

方形区画の堀

そこで、右手(北方向)を見たところ



南側の橋が架かっていた場所をアップで見たとこ



左手から見たところ

[video](#)



これは南西の角から東方向を見たところ



そこで、左手(北方向)を見たところ/正面に西側の橋が架かっていた場所が見える



西側の橋が架かっていた場所をアップで見たとこ



左手から見たところ

[video](#)



これは北西の角から南方向を見たところ



そこで、左手(東方向)を見たところ/前方に土橋が見える



その土橋をアップで見たところ

[video](#)



左手から見たところ



土橋

反対側から見たところ



土橋

さて、これは北側から1号掘立柱建物跡を見たところ

[video](#)



同じく、西側から見たところ



これは北側から3号掘立柱建物跡を見たところ



同じく、西側から堀越しに見たところ

[video](#)



さて、これは南西側から見たところで、方形区画の堀の西外側には倉庫とみられる建物跡もあり、これらの遺構は当時この地を治めていた豪族の居館跡か、祭殿跡であろうと考えられている



倉庫 ②

倉庫 ①

3号掘立柱建物跡

2号掘立柱建物跡

これは西側から見たところ/手前が倉庫①(右手)と倉庫②(左手)

 video



南側から倉庫①(手前)と倉庫②(奥)を見たところ



これは倉庫①を東側から見たところ



同じく、倉庫②を東側から見たところ

 video



さて、これは特殊な掘立柱建物跡と石組みの井戸/西側から見たところ

[video](#)



「特殊な掘立柱建物跡と石組みの井戸」の説明板

特殊な掘立柱建物跡と石組みの井戸



古墳時代前期から中期（今からおよそ1600年前）の遺構

写真(奥)の掘立柱建物跡は東西、南北とも約8 mの正方形で、柱が二重にめぐる特殊な構造でした。西側(手前)には浅い石組みの井戸が2基あり、正方形に柄をつけたような形をしていました。これらの井戸は、掘立柱建物跡の方に向き、それぞれ平行に配置されていました。井戸から出土した土器の年代から右(南側)が古く、左(北側)の方が新しいということがわかりました。この二つの遺構から、豪族が水にかかわる「まつり」を行った場所だと考えられています。

石組みの井戸(手前)と特殊な掘立柱建物跡(奥)/豪族が水にかかわる「まつり」を行った場所だと考えられている



石組みの井戸を左手から見たところ



左手の井戸



右手の井戸/こちらの方が古いらしい



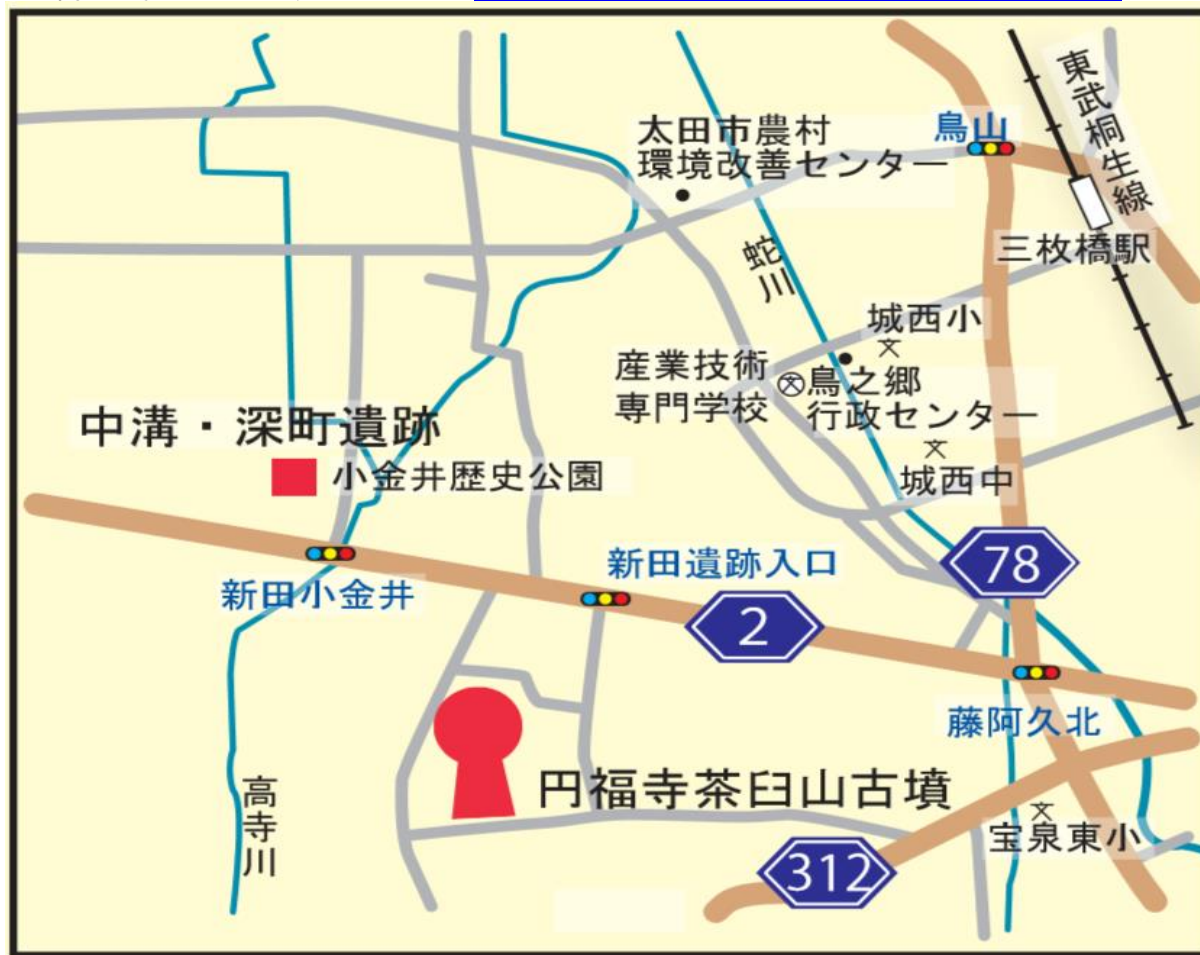
こちらは柱が二重にめぐる特殊な掘立柱建物跡/建物の四面に庇を持つ構造と云う/西側から見たところ



南側から見たところ



この遺跡群の南東約1.2kmには円福寺茶臼山古墳(5世紀初頭の築造とされる)があり、この古墳の被葬者との関連も考えられると云う [参考:円福寺茶臼山古墳\(宝泉茶臼山古墳とも呼ばれる\)](#)



県指定史跡 中溝・深町遺跡～古墳時代豪族のまつりとそのくらし～/太田市教育委員会 文化財課 より

参考ホームページ

<https://www.city.ota.gunma.jp/005gyosei/0170-009kvoiku-bunka/kankoubutu/files/shi03.nakamizohukamachi.pamph.pdf#search=%27%E4%B8%AD%E6%BA%9D%E3%83%BB%E6%B7%B1%E7%94%BA%E9%81%BA%E8%B7%A1%EF%BC%88%E5%A4%AA%E7%94%B0%E5%B8%82%EF%BC%89%27>

<https://www.city.ota.gunma.jp/005gyosei/0170-009kvoiku-bunka/bunkazai/nittabunka8.html>

<https://mukidouan.exblog.jp/20861550/>

<https://ameblo.jp/minowa-3800/entry-12530394167.html>

<https://rubese.net/gurucomi001/?id=1451655>

<http://beccan.blog56.fc2.com/blog-entry-3369.html>

<https://yamashiro2015.blog.fc2.com/blog-entry-1280.html>

